

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36407	クラフトデザイン Craft Design	金子 ひとみ	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
<p>フラワー・食器という自分の身近にある素材を利用して、暮らしを豊かにするデザインとはどんなものを学ぶ。SNS を利用して自分ブランドの発信の仕方を学ぶ。</p> <p>自分のオリジナルデザインを考えることによって、個別化・想像力・アイデア力を養う。</p> <p>自分の作品が出来上がった喜びと愛着が沸くことによって、ものを大切にする心を養う。</p>						
学修内容			到達目標			
① フラワーアレンジの基礎的な技法を知る			① コサージュの作り方を手順を追って説明することができる			
② 白磁・転写紙の特性について知り、オリジナルな作品作りが出来ようになることを目標とする			② ポーセリンアートに適した白磁と転写紙を使用でき、一からデザインを創造することができる			
③ 限られた時間の中で作品を創造し、よりよい作品作りのために積極的に授業に参加することができる			③ 授業中に積極的に参加することができ、グループワークでは皆と協力することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	作品制作アイデアについて、インターネット等を使い事前に自己学修することができる				
	働きかけ力					
	実行力	作品の提出期限までに仕上げるための手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる				
考え抜く力	課題発見力	与えられた作品制作について、自分なりの課題を客観的に見つけることができる				
	計画力	締切の期日を守り、制作することができる 時間配分ができる				
	創造力	デザインを考えるときに、1つの方向からでなく、多方面からのアプローチができる				
チームで働く力	発信力	SNS という媒体を上手く使いこなし、不特定多数に対して訴求力のある発信ができる				
	傾聴力	講師の求めることを察知し、それに見合った作品を作ることができる				
	柔軟性	人の作品を見て、自分と価値観の違いがあっても、受け入れることができる				
	状況把握力	今は何をすべき状況なのか見極め、それに見合った行動ができる				
	規律性	道具の扱い方や、片付け等ルールに基づき、率先してやることができる。 無断欠席・遅刻・私語等講義に支障をきたす行為をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:なし。プリントを適宜配布する。教材費約 4,000 円</p> <p>参考文献:なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:なし</p> <p>資格との関連:なし</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
デザインを考えることが多いので、あらかじめインターネット・本等を参考にしておくこと			教材を持ち帰る場合は、必ず次の授業で持ってくる 必要時以外はスマートフォン禁止			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	10	① ② ③ ④ ⑤	作品制作についてのアイデアや気づきをA4 1枚にまとめる 1回実施10点満点 実施時期テーマは授業中に指示をする
成果発表 (口頭・実技)	20	① ② ③ ④ ⑤	作品についてのプレゼンを行う テーマ・内容とも訴求力に優れている 20点、テーマ・内容どちらかが乏しい 15点 テーマ・内容とも努力が必要 10点
作品	60	① ② ③ ④ ⑤	作品の完成度で評価する(特に高く、表現にも工夫がみられる:60点 完成度は高く、表現にも工夫がみられる:50点 完成してはいるが、表現に工夫と努力が必要である:40点 何点かの作品のトータル点数の平均点で評価する 未提出は0点
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤	(規律性)遅刻・無断欠席・学習意欲欠如・課題未提出・グループ活動への非協力など授業に支障をきたす行為をせず、ルールを守ることができる。 当日欠席により課題提出が遅れる場合は、事前提出する。 6回以上の欠席は「0」判定(放棄)とする
その他			
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S)すべての作品の完成度が高く、表現に工夫が見られ、他の生徒の見本となるような作品であること。作品制作・プレゼン両方とも主旨に沿ったものを提示できていること。 総合評価の点数が90点以上 (A)8割の作品の完成度が高く、表現に工夫が見られるものであること。作品制作・プレゼン両方とも主旨に沿ったものを提示できていること。 総合評価の点数が80点以上	(B)5割の作品の完成度が高く、表現に工夫が見られるものであること。作品制作・プレゼンどちらかが主旨に沿ったものを提示できていること。 総合評価の点数が70点以上 (C)全ての課題を提出できていること。 総合評価の点数が50点以上

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション ・授業の目的、概要、進め方 ・フォトスタイリング講座として、 授業で制作する作品をカメラ で写して、デザインのイメージ を膨らませる ・スマホカメラの基本的な機能、 編集の重要性を学ぶ	・異素材の特徴、種類について学び、 自分流の作品を制作 ・写真という作品にすることに興味をも つことができる	・授業の進め方について理解ができる ・スマホカメラの基本的な技能を使い、 写真を編集することができる	(予習と復習) オリエンテーションで説明した内容を理解して、 実習に必要な用具を準備する	30	主体性 課題発見力 計画性 傾聴力 状況把握力 規律性
2週 /	ポーセリンアートの白磁と転写紙について学ぶ	講義・演習 授業開始時に口頭でテストのちフィードバックする	転写紙を貼ってマグカップを完成させる	(予習)作りたいプレートのデザインを考 えてくる	90	主体性 課題発見力 規律性
3週 /	ポーセリンアートでプレートを制作	演習 授業開始時に口頭でテストのちフィードバックする	下絵まで完成している	特になし	90	傾聴力 主体性 課題発見力 規律性
4週 /	ポーセリンアートでプレートを制作	演習 授業開始時に口頭でテストのちフィードバックする	転写紙が貼れている	特になし	0	傾聴力 主体性 課題発見力 規律性
5週 /	ポーセリンアートでプレートを制作	演習 授業開始時に口頭でテストのちフィードバックする	作品が完成している	作品が完成しない場合は宿題	0	傾聴力 主体性 課題発見力 規律性
6週 /	ドライフラワーでハーバリウム作り	演習 授業開始時に口頭でテストのちフィードバックする	作品が完成している	作品が完成しない場合は宿題	45	傾聴力 主体性 課題発見力 規律性
7週 /	フォトスタイリングで作品の表現方法を知る	講義・演習 授業開始時に口頭でテストのちフィードバックする	フォトスタイリングの基礎知識を使った写真が撮れる	特になし	90	傾聴力 主体性 課題発見力 規律性
8週 /	フォトスタイリングした写真を使い、 SNSとの付き合い方を学ぶ	プレゼンテーション 授業開始時に口頭でテストのちフィードバックする	大勢の前でプレゼンができる レポート提出	特になし	0	傾聴力 主体性 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36407	クラフトデザイン Craft Design	水越 球巳	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
羊毛フェルトを使った作品を制作するために重要なことは、フェルトの歴史や伝説を学んで理解することと、羊毛の特色である「繊維が絡み合う」という性質を、実習を通して学修することである。 羊毛フェルトは様々な可能性を持っている素材である。特徴や種類を知り、また道具や材料の使用方法を学び、目標とする専門的知識・技能を身につけて活用することで、独自の発想や表現力を持った個性ある作品の制作を行っていく。						
学修内容			到達目標			
① フェルトの歴史と伝説について学び、作品制作を豊かなものにする。			① フェルトがどのようにしてできたのか、世界の遺跡に残る羊と人間の暮らしの様子から、昔の人の知恵や工夫を学ぶことができる。			
② 羊毛の繊維が絡み合う原理(フェルト化の原理)を学び、実習を通して理解する。			② 羊毛の繊維が絡み合う原理を理解し、フェルト化する感覚をつかみながら、豊かな想像力を持ってオリジナルな作品を制作することができる。			
③ 羊毛フェルトの手法、特徴、種類について学び、作品制作に応用する。			③ 作品の特徴を出すために、羊毛フェルトの種類の使い分けを学び、制作することができる。			
④ 道具や材料の使用実習で学び、作品制作に応用する。			④ 目的に合った道具の使用実習方法を習得できる。			
⑤ 羊毛フェルト作品制作においては、道具を丁寧に扱い、収納時には道具に感謝の気持ちを持って収納する。			⑤ 作品制作に喜びを味わいながら、自分らしい作品を制作することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	・苦手とする手法があれば、自宅でも復習を兼ねて練習をし、手法を習得する。				
	働きかけ力					
	実行力	作品制作の技法のレベルは講義をするごとに上がっていくが、作品の完成を目標に諦めずに取り組み続ける。				
考え抜く力	課題発見力	・他者からの助言などを参考に、デザインのヒントや手法のコツを見つけ出し、作品の完成を目指すことができる。				
	計画力					
	創造力	・歴史や原理を知り、基礎的な考えを持った上で、自分なりのアイデアを発展させて作品を作り上げていく。				
チームで働く力	発信力	・作品制作の過程を通して、自分が表現をしたいことを明確に伝えることができる。				
	傾聴力	・話の内容を正確に理解し、真摯に共感を持って聴くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	・決められたルールを守り、相手に迷惑をかけるような行動をとらない。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 参考文献:手づくりフェルト 若井麗華 高橋美恵子 大月書店、羊毛フェルトテクニックブック 佐々木伸子 河出書房新社、フェルトメイキングウールマジック ジョリー・ジョンソン 青幻社、教材費～約 3500 円						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:なし 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
作品のクオリティを高めるため、羊毛を使用した雑貨の色彩や形に関心を持つと良い。 ・毎回の授業ごとで違った技術を習得しながら作品制作を進めていくので、気づいたことなどは、ノートにとり、復習を行って技術習得に努めること。			授業内容に応じたプリントを配布する。 ・制作した作品には、必ず感想を添えて提出する。 ・演習授業なので欠席をしないこと。欠席により課題提出が遅れる場合には、速やかに申し出ること。 ・携帯電話の電源を切り、カバンの中に入れておくこと。 ・制作しやすい環境を整えるため、机の上に荷物は置かないこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	70	①	✓	① フェルトが生まれた時代背景を理解する。 ② フェルト化の原理を理解するとともに、オリジナルな作品を制作できたか評価する。 ③ 羊毛フェルトの特性を作品に生かしているか評価する。 ④ 道具を適切に使用し、作品の細部にわたり気を遣って制作しているか評価する。 ⑤ 完成度と表現力がともに特に高く、工夫も見られる:60~70 点/完成度と表現力が高く、工夫も見られる:40~50 点/完成はしているが、表現方法に努力が必要である:30~40 点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	・遅刻、欠席、学習意欲や規律性の欠如が見られる場合は、5点を減点する。(規律性) 制作をした作品の未提出が見られる場合は、5点を減点する。(授業が終了しても納得いくまで仕上げをしたい場合は報告に来ること。※内容に応じて対応を検討します。)(主体性、実行力) ・7 回までの講義と合わせて、6 回以上の欠席は0判定とする。(遅刻3回は欠席 1 回とみなす。) ・より良い作品作りのため、他の受講者の意見を参考にして、意見交換をしながら協力して学修に取り組んでいるか評価する。2点(傾聴力、発信力) ・様々な素材の良さを引き出しながら作品に反映させているか評価する。5点(創造力) ・作品作りに何が大切か考えながら取り組む。3点(課題発見力)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	20	①	✓	・制作した作品には、必ず感想を添えて提出する。(10 点) ・提出期限までに制作した作品を提出する。(10 点)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
・フェルト化の原理及び羊毛フェルトの特徴を理解できている。 ・道具を適切に使用し、作品を丁寧に仕上げている。 ・様々な素材にチャレンジして、オリジナルな作品を制作するためのアイデアを提案することができる。 ・(S)フェルト化の原理及び羊毛フェルトの特徴を正確に理解している。 ・(S)道具を適切に使用し、作品の細部にわたり丁寧に仕上げている。 ・(S)様々な素材にチャレンジして、オリジナルな作品を制作するための複数のアイデアを提案することができる。	・フェルト化の原理及び羊毛フェルトの特徴をほぼ理解している。 ・道具を適切に使用し、作品を完成させている。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	○ ガイダンス ・フェルトの歴史と伝説について学習する。 ・フェルト化の原理について学習する。 ・羊毛フェルトの手法、特徴、種類について学習する。 ・道具、素材の扱い方について学習する。 ○ ボールテクニック1を学修する。	講義と演習 ・制作方法を説明後に実習を行いながら、フィードバックする。 ・制作工程での気付いた点と作品の工夫した点を書く。 ・準備～はさみ	フェルティングニードル(1本針)を使い、基本の形のボール型を作りながら、フェルト化の原理を理解し、形を作ることができる。	(復習) ・次回から授業で使用する羊毛の手法、特徴、種類を理解すること。 ・フェルト化の原理について、羊毛を使用して形にしながら再確認すること。 (予習) ・アップリケテクニックで制作する図案を考えてくること。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力 発信力 実行力
10週 /	○ エコバックにアップリケを制作する。(ニードルフェルト) ・布のエコバックにアップリケテクニックで制作する。(フェルトパンチャーとフェルティングニードルを使うテクニック) ○ ボールテクニック2を学修する。(ハンドメイドフェルト) ・お湯と石鹸を使うボールテクニックを学修する。 ・熱、圧力、振動を与えながら羊毛が絡み合い縮み固まる原理を学修する。	講義と演習 ・制作方法を説明後に制作実習を行いながらフィードバックする。 ・制作工程での気付いた点と作品の工夫した点を書く。 ・準備～はさみ	・自然素材のエコバックにオリジナルなデザインでアップリケをすることができ ・羊毛の繊維が絡み合う原理を理解し形にすることができる。	(復習) ・ニードルフェルトとハンドメイドフェルトの手法・特徴を理解すること。 (予習) ・フラワーブローチの図案を考えてくること。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力 発信力 実行力
11週 /	○ フラワーブローチ作品 ・フェルトパンチャーを使った技法で、花型の布に羊毛フェルトと毛糸を絡ませる。 ・フェルトと毛糸を絡ませた花型の布を数枚重ね合わせて縫い合わせる。	講義と演習 ・制作方法を説明後に実習を行いながら、フィードバックする。 ・制作工程での気付いた点と作品で工夫をした点を書く。 ・準備～はさみ、縫い針	・花型の布にフェルトパンチャーで様々な色の羊毛フェルトと毛糸を絡ませながら、オリジナルなデザインを作ることができる。 ・花型の布を数枚重ねて縫い合わせ、ブローチを完成させることができる。	(復習) ・フェルトパンチャーの技法を確認すること。 (予習) ・マフラーの図案を考えてくること。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力 発信力 実行力
12週 /	○ ハンドメイドフェルトで作るマフラー ・お湯と石鹸で羊毛をフェルト化させる手法でマフラーを制作する。 ・自分で考案した図案を羊毛フェルトを使いマフラーにデザインする。	講義と演習 ・制作方法を説明後に実習を行いながら、フィードバックする。 ・制作工程での気付いた点と作品で工夫をした点を書く。 ・準備～フェイスタオル2枚、エプロン	・ハンドメイドフェルトの技法で、羊毛をフェルト化することができる。 ・羊毛が縮む変化を確認しながら仕上げるができる。	(復習) ・ハンドメイドフェルトの技法について確認すること。 (予習) ・フェルト携帯ポーチの図案を考えてくること。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力 発信力 実行力
13週 /	○ マフラーの仕上げ(ニードルフェルトの手法で形を整える) ○ フェルト携帯ポーチ用の羊毛の準備 ・羊毛の繊維を縦方向、横方向に並べる。	講義と演習 ・制作方法を説明後に実習を行いながら、フィードバックする。 ・制作工程での気付いた点と作品で工夫をした点を書く。 ・準備～はさみ	・自分でフェルト化したマフラーにオリジナルなデザインを施すことができる。	(復習) ・固まりの羊毛の繊維をほぐすときに均一な厚さにする手法を確認すること。 (予習) ・フェルト携帯ポーチのイメージを具体化してくること。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力 発信力 実行力
14週 /	○ フェルト携帯ポーチの制作 ・羊毛フェルトで型紙とお湯と石鹸を使って縫い目の無い袋物を制作する。	講義と演習 ・制作方法を説明後に実習を行いながら、フィードバックする。 ・制作工程での気付いた点と作品で工夫をした点を書く。 ・準備～フェイスタオル2枚、エプロン	・型紙を使い、縫い目の無い袋状に制作することができる。	(復習) ・袋状にする技法について (予習) ・フェルト携帯ポーチを実用的なものにするために必要なものがあれば(紐・ボタンなど)を持ってくること。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力 発信力 実行力
15週 /	○ フェルト携帯ポーチの仕上げ ・フェルト化したポーチに紐、ボタンなどをつける。 ・作品を発表する。	作品を発表した後フィードバックする。 ・制作工程での気付いた点と作品の工夫した点を書く。	・縫い目の無い袋物に仕上げることができる。	(復習) ・袋状になる手法を確認すること。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力 発信力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾力 柔軟性 状況把握力 規律性 ス
トレストロール力